

2025年度 連盟活動方針

全体

- ◆『2026年度連盟ビジョンへのアクションプラン』実現に向けて以下について取り組む
- ①引き続き、連盟への加盟の働きかけを行い、加盟チーム増を目指す。また、加盟チームからの連盟運営等に係る要望等の把握に努める。
 - ②連盟会計を明確にするため、一定期間ごと(大会ごと)にその収支について確認を行い厳密適正な会計運営に努める。
 - ③連盟役員への会議、大会参加時の経費等については、旅費規程に基づき運用する。
 - ④各主催大会の開催にあたっては、会場規模も考慮しながらチーム数・カテゴリー等を計画するとともに、それぞれの大会のコンセプトや魅力について積極的に発信していく。とりわけポトムアップ型大会である「ソ・コラボフェスティバルin大阪」については規模拡大していく。
 - ⑤運営委員会等の会議は、引き続きオンラインを基本として実施し、時間的・金銭的な負担軽減を図る。その他の会議については、広く役員からのニーズ等を反映させるシステムについて組織や会議の在り方等について検討していく。
 - ⑥連盟運営や大会後援等に支援していただける企業や団体の発掘に努める。
 - ⑦上部組織である(一財)大阪府バレーボール協会との一層の連携を深め、本連盟への協力をお願いしていくとともに(一財)大阪府バレーボール協会の運営に積極的に関わっていく。
 - ⑧府内市町村生涯スポーツ担当部署ならびに府内市町村ソフトバレーボール連盟との連携を行っていく。
 - ⑨今後の連盟役員の改選方法等について連盟規約の改正も視野に入れながら検討していく。
- ◆大会運営は新型コロナ以前の通常運営とし、参加チームの理解を得ながら感染防止対策に努める。
◆指導者育成ならびに指導普及活動の強化のためアクティブリーダー養成講習会とアクティブリーダー研修会を近畿ソフトバレーボール連盟と共催して実施する。
◆奈良県で行われる近畿ブロック総合フェスティバルについては近畿ソフトバレーボール連盟として協力していく。
◆多くのソフトバレーボール愛好者・クラブに連盟の取組を広報するために、ホームページ、LINE公式アカウント、Facebook、チラシやポスターにて情報発信に努める。また、大会申込をグーグルフォームやLINEでも可能なように変更していく。

1 主催大会の工夫・活性化(競技部)

- ◆引き続き府下市町村連盟・協会との連携強化と参加資格の柔軟化を進めることにより参加チーム増を目指し、魅力ある大会の企画・運営を行う。
◆好評を得た「ソ・コラボフェスティバルin大阪」大会は、今年度もイベント性を踏まえた従来の大会とは違った運営方法の企画立案をする。
◆全国フェスティバル予選会の抽選会は、オンラインを活用し運営時間の短縮を図る。
◆コート設営等の大会準備や大会運営に係る業務について参加チームへの協力要請を行い、大会時間の短縮を図る。
◆近隣市町村連盟・協会の協力を得て交流大会の開催を進め、参加チームの増加を図りながら市町村連盟との交流を深める。
◆引き続き、Match Maker 結果共有QRコードによる結果閲覧システムを実施し、リアルタイムな情報伝達に努める。

2 審判技術の向上(審判部)

- ◆伝達講習会での審判実技講習を実施し競技規則の改・修正点等を説明していく。
◆大会開会式でのワンポイントレッスン、競技中の審判スキルクリニックコーナーについて開催していく。
◆ソ・コラボ大会など審判が不慣れなチームもあることから審判デモや審判補助を行う。
◆連盟未加入等のチームは審判が大きなハードルとなっていることから、気軽に参加できる審判講習会の開催を検討する。

3 情報提供と連盟への加盟推進(総務部)

- ◆HPの充実を図り、大阪府下のみならず全国・近畿のチームとの交流が出来る連盟主催大会の魅力ソフトバレー愛好チームに発信し、加盟チームの増加を図る。
◆昨年度までに市町村連盟の推薦で連盟主催大会に参加いただいたソフトバレー愛好チームに対し、加盟登録の案内と年間の講習会・大会情報を事前に発信し、参加チーム増加を目指す。

4 加盟チームならびに役員の資質向上(指導普及部)

- ◆アクティブリーダー研修会(リーダー資格からの移行・アクティブリーダーの資格更新)を実施する。2025年度更新切れするリーダーについて実施要項等の周知に努める。
◆アクティブリーダー養成講習会を実施する。その際、近畿ソフトバレーボール連盟との連携のもと実施する予定としており当該連盟からの支援を依頼する。
◆アクションプランに基づき連盟活性化や魅力ある組織活動、市町村連盟との連携の在り方等についての具体化に取り組む。また、生涯スポーツとしてソフトバレーボールの魅力について市町村担当部署への情報発信に努める。
◆連盟ホームページをはじめ、SNSの有効活用に努める。

5 公益財団法人日本バレーボール協会『登録管理システム』の周知徹底(総務部)

- ◆大阪府下の市町村組織のソフトバレー愛好チームに対して、本連盟から加盟登録・大会・講習会・研修会等の情報を容易に配信できる(公財)日本バレーボール協会登録管理システム(JVAMRS)の周知に努める。